



# 重要安全情報

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みください。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等の発生が想定される操作・説明では、この警告マークを付記します。
--	-----------	--

《補足》 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

	<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると火災・感電・けが等、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される操作・説明では、この注意マークを付記します。
--	-----------	---

《補足》 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 《電源に関する注意事項》

- 電源はAC100V（50/60Hz）です。安定した電源・電圧のもとでご使用ください。
- タイムレコーダーの電源は終夜電源にし、他の機器電源と独立させてください。
- 本機はリチウム電池を内蔵しています。停電になっても内部時計は歩進しています。ただし、停電時はタイムレコーダーの打刻はできません。

## 《上ぶたを開ける場合の注意事項》

- 上ぶたを開けてリボンカセット交換等を行うときは、スチールデスクなどの大きな金属に触れるなど除電して（静電気を取り除いて）から作業してください。故障等の原因となることがあります。

## ■ 絵表示の例 ■



高温注意

△記号は警告や注意を示します。具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は強制する行為を示します。具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

# 安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みのうえ、お守りください。

## 警告



定格電圧外禁止

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。  
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。  
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。  
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。



改造禁止

- ・本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・本取扱説明書で取り外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れたりしない。  
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



定期清掃

- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取る。  
ほこりがたまり、火災の原因となります。



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## ⚠ 注意



設置場所

- ・ 本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。

万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・ ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・ 本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。火災、感電の原因となることがあります。



固定用具使用

- ・ 本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。

落下してけがの原因となることがあります。



プラグを持って抜く

- ・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・ リボンカセットを交換するときは、上ぶたを外した後、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- ・ 本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

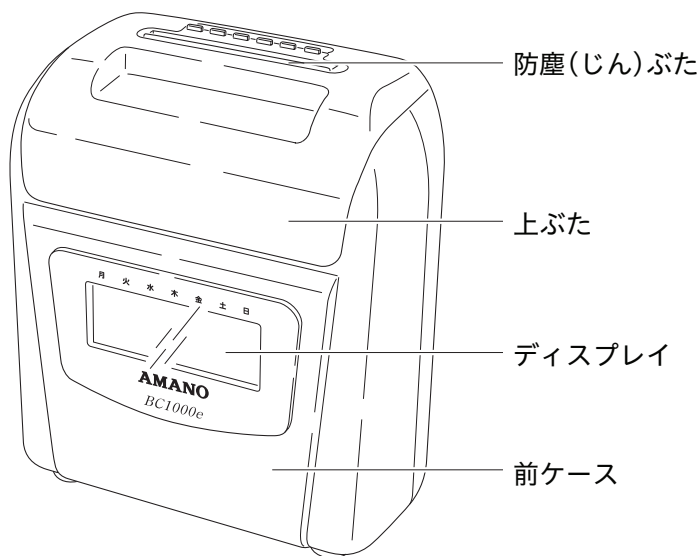


高温注意

- ・ 高温注意シールのところは触れない。やけどの原因になることがあります。

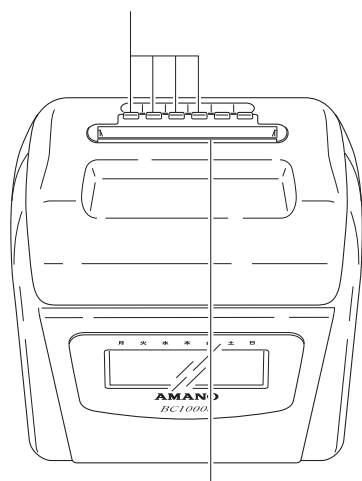
# 各部の名称

## 外観



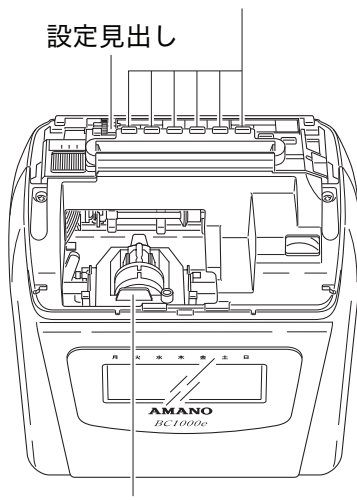
### 欄ボタン

※右側2つのボタンは使用できません。



### 欄ボタン (設定ボタン)

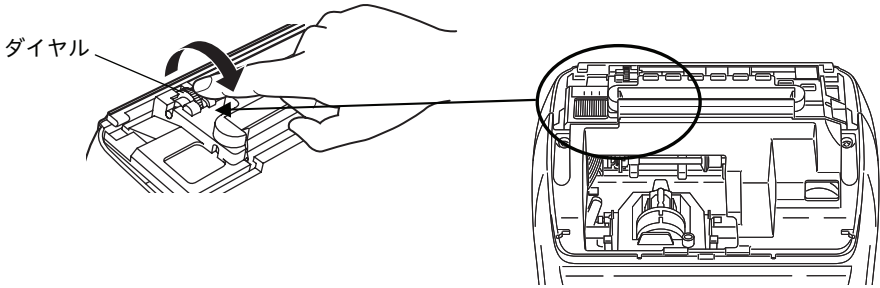
設定見出し



# 操作部

上ぶたを開けて、各項目の設定を行います。(13 ページ参照)

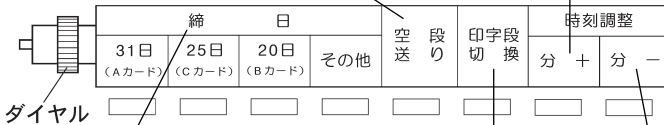
左側にあるダイヤルを回して設定見出しを回転させることで(下図参照)、設定見出し①~②を出すことができます。設定見出しの手前にあるボタンを押して操作します。設定についての詳しい説明は、14 ページ以降を参照してください。



## 設定見出し①

このボタンを押すと、空段の位置が変わります。  
押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、時計が1分進みます。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が0秒となります。



月末・25日・20日締めボタンがあります。  
任意の締め日を設定したい場合は、「その他」を押します。「その他」を1回押すと表示が1日進みます。押し続けると早送りします。

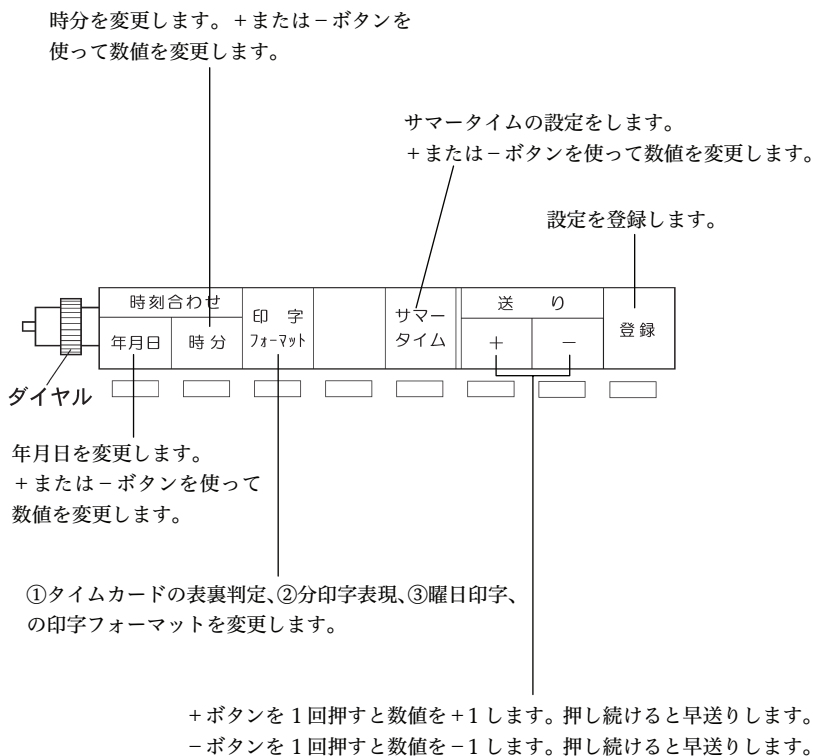
このボタンを押すと、タイムカードの印字段を切り換える時刻が変わります。押し続けると早送りします。

## ディスプレイ表示



このボタンを押すと、時計が1分戻ります。  
押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が0秒となります。

## 設定見出し②



## ディスプレイ表示



# 使用するカードについて

アマノ標準タイムカードをご使用ください。

締日によりAカード、Bカード、Cカード、Dカードがあります。

誤ったカード面（表裏反対）を挿入すると「ピコピコピコッ」とブザーが鳴り、印字できません。

Aカード  
月末/15日締め（両面）

Bカード  
20日/5日締め（両面）

Cカード  
25日/10日締め（両面）

Aカード、Bカード、Cカードにはあらかじめ日付が印刷されています。  
締日に合ったカードをご利用ください。


上記以外の締日の場合は、日付の印刷がないDカードがご利用頂けます。

※例えばAカードでは、おもて面（青色の印刷面）から使い始めると月末締め、うら面（赤色の印刷面）から使い始めると15日締めになります。

※アマノ標準タイムカード以外をお使いのときは、正常な動作の保証をいたしません。

# 設置上の注意

## 設置場所のご注意

 **注意** 故障の原因となりますので、次のような場所に設置しないでください。



禁止

直射日光、熱源のそばには設置しない。



水ぬれ禁止

雨水のかかる場所には設置しない。



禁止

強い振動、衝撃を機器に与えない。



禁止

腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しない。



禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。

## 設置のしかた

台に置いて使用する場合は、水平な台に置いてご使用ください。

 **注意**



禁止

ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



固定用具使用

本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる  
壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してけがの原因となることがあります。

本機は壁掛けでも使用することができます。  
壁に掛けてご使用になる場合は次ページをご覧ください。



# 壁に掛けて使用する場合

## ⚠ 注意



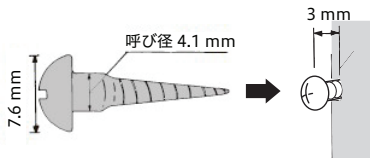
固定用具を使用

- ・壁掛けは本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。落下してケガの原因となることがあります。

呼び径 4.1 mm の木ネジ(丸頭)3本とドライバー、キリ等が必要です。

### 1 木ネジを壁に取り付けます(木ネジはお客様でご用意ください)

94 cm～124 cm程度のところに木ネジを付けたら使いやすい高さになります。

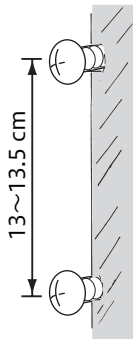


木ネジの頭を  
3 mm 出します

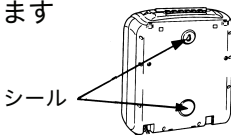
下穴をあけてからドライバーで締めこんでいきます。下穴は木ネジの太さの70%くらいの大きさの穴を目安にしてキリ等を使用します。

### 2 2本目を取り付けます

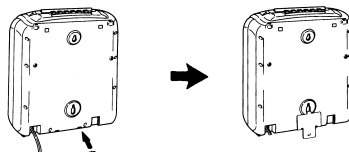
最初に付けた木ネジからまっすぐ下に13 cm～13.5 cmのところにもう1本の木ネジを取り付けます。



### 3 本体背面のシールをはがします

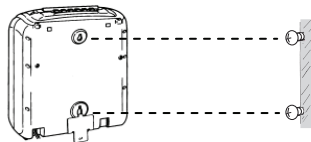


### 4 壁掛板をダルマ穴(2ヶ所あるうちの下の方)に引っ掛けます



### 5 ダルマ穴を壁の木ネジに引っ掛けます

壁掛板(付属品)



### 6 壁掛板を木ネジで固定します



# 電源について

## 警告



定格電圧外禁止

・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。また、タコ足配線をしない。

火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。



禁止

・電源コードを傷つけたり、破損しない。

また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。



分解禁止

・本機の上ぶた以外は外さない。

内部は電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



改造禁止

・本機を改造しない。

火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

## 注意



プラグを持って抜く

・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

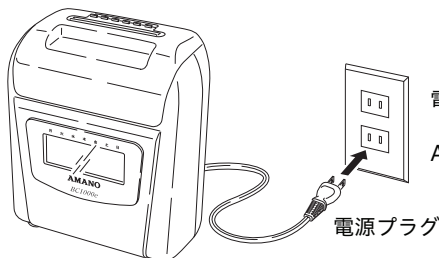


設置場所

・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。

万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。

### 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



電源コンセント

AC100V (50/60Hz)

電源プラグ

- 電源、電圧は安定したところでご使用ください。
- 電源は終夜電源にして、他の機器と独立させてください。
- 電源プラグを定期的に取り出し、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり火災の原因となります。

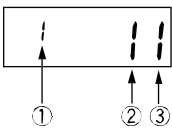
# すぐにご使用になる場合

下記の設定内容でしたら、電源プラグをコンセントに差し込むだけで、設定なしでもご使用いただけます。

☉ 設定内容： 締日“月末”または“15日”で、午前 3:00 をまたぐ勤務の人がいない場合はそのままお使いいただくことができます。

- 締日=月末または 15日 ・ A カードを使用します。
- 印字段切換時刻=3:00 ・ タイムレコーダー上の 1 日の開始時刻です。  
この時刻を境に、印字する段を切り換えます。
- ・ 印字段切換時刻は就業者がいない時刻を選びます。  
午前 3:00 を超える勤務が頻繁にある場合、設定変更する必要があります。(17 ページ参照)

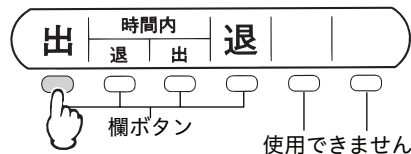
## 初期値一覧表

内容	設定値	初期値	参照ページ
締日	01～31	31 (月末締め)	14
空段位置	01～32 (アマノ A、B、C カード使用時は、 設定の必要がありません)	01 (1 段目)	15
印字段切換時刻	時 00～23	03 (午前 3:00)	17
印字フォーマット 	① タイムカードの表裏判定 1: する 2: しない	1 (する)	21
	② 分印字表現 1: 60 進法 2: 100 進法 A 3: 100 進法 B 4: 10 進法	1 (60 進法)	21
	③ 曜日印字 0: 日付 1: 漢字 2: 英語 3: 曜日印字しない	1 (漢字を印字する)	20
サマータイム	サマータイム開始日 実行時刻: 0:00～9:00 サマータイム終了日		22

# 毎日の使いかた

## 出勤・退勤の選びかた

「出」「退」の印字位置は、欄ボタンを押して選びます。



■欄ボタンを指定して赤く点灯させてからタイムカードを挿入します。すると、タイムカードの、欄ボタンで指定したところと対応した欄に印字します。タイムカードの他の欄に印字したい場合は、印字したい欄ボタンを指定します。

■次に欄ボタンを押すまでタイムカードの印字位置は変わりません。

## タイムカードの入れかた

印字欄を確認してカードを軽く挿入します。

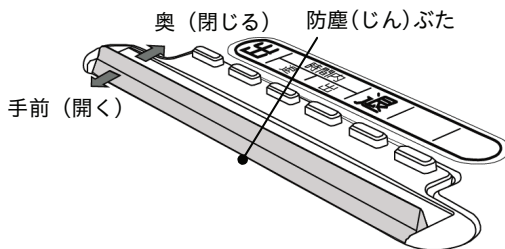
カードは自動的に引き込まれ、印字されます。

排出されたカードは、すみやかに取り除いてください。

そのままにしていると、ローラーの動作音がしますが、故障ではありません。

■防塵(じん)ぶたを確認してください。

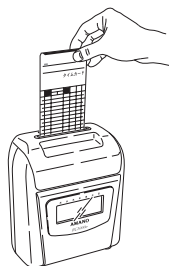
手前で開き、奥で閉じます。(右図)



■自動引込式です。無理に押し込んだり、印字中に引き抜いたりしないでください。

■《表裏判定機能付(21ページ参照)》表裏を誤って挿入すると、印字せずにカードを排出して「ピコピコピコ」とエラー音を鳴らします。ただし、上下を誤って挿入すると印字してしまいますのでご注意ください。

■付せん紙やクリップをつけた状態でタイムカードを挿入すると紙詰まりなどの原因になります。



《時刻改ざん印字(不正防止のため)》

■時計を分以上変更すると、変更後初めての打刻のみ「時の位」の印字が小文字になります。時刻を元に戻した場合は、5分以上の変更であっても通常どおり大文字で印字します。

通常	変更後
月 8:28	月 8:20

■サマータイムの設定操作をした日に、自動的に1時間進んだり戻ったりした場合も、最初の打刻のみ「時の位」が小文字になります。設定操作をした日でなければ、通常どおり大文字で印字します。

# 設定のしかた

## 上ぶたの開閉

### 警告



分解禁止

・この機器の上ぶた以外は外さないこと。  
内部は電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



改造禁止

・この機器を改造しないこと。  
火災、感電のおそれがあります。

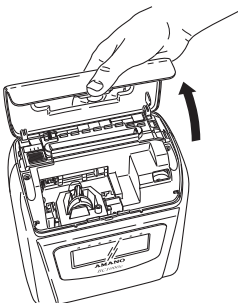
時刻合わせ・縮日変更・年月日変更・リボンカセット交換等の時、上ぶたを開けます。

**ご注意** 上ぶたの開閉は電源を入れた状態で行ってください。

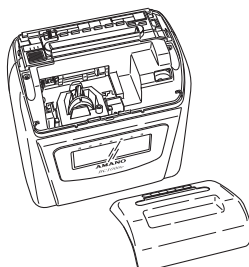
### 開け方



①上ぶた中央を押しながら、上ぶたを開きます。

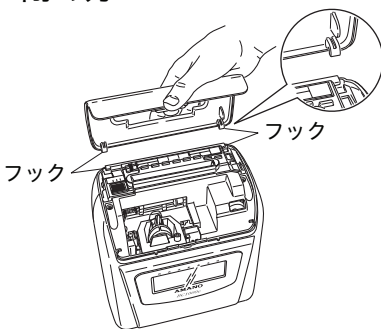


②上ぶたを上へ開きます。

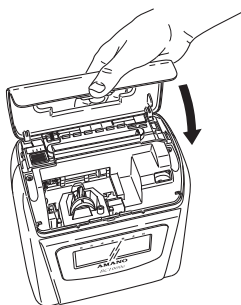


③上ぶたを取り外します。

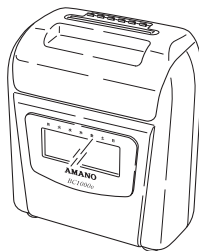
### 閉め方



①上ぶたのフックを本体のフックに引っ掛けます。



②上ぶたを手前に倒します。  
パチッというまで上ぶた前面を強めに押しはめます。



③時計表示が現在時刻であることを確認してください。

### ご注意

無理に閉めるとフックを破損する可能性があります。  
閉まりにくい場合は、フックが正しく引っ掛かっているか確認してください。

## 締日の変更が必要な場合

締日とは、1か月単位の処理月の最終日を言います。締日が月末または15日（Aカード使用）の場合は、変更する必要がありません。

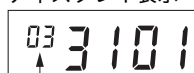
締日が20日または5日（Bカード使用）の場合は、20日（Bカード）の締日ボタンを、また締日が25日または10日（Cカード使用）の場合は、25日（Cカード）の締日ボタンを押すだけで締日を変更できます。

例：締日を25日に設定する（Cカード使用）

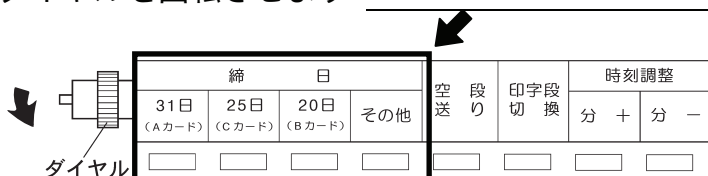
### 1 上ぶたを開けます（13ページ参照）

### 2 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示

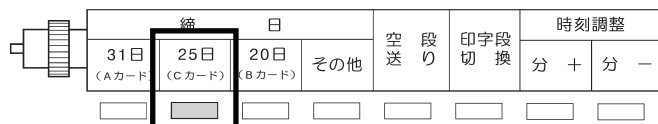


印字段 切り換え時刻  
締日  
空段 位置



### 3 変更したい締日のボタンを押します

登録完了です。



押すと点灯し、25日締めに変更できます。 ・ その他ボタンは、月末（15日）、25日（10日）、20日（5日）以外に締日を設定する際に押します。

- 設定が完了しましたら13ページを参照して上ぶたを閉めてください。  
時計が表示されない場合は上ぶたが確実に閉まっているか確認してください。

上ぶたを開けずに締日を変更することもできます。



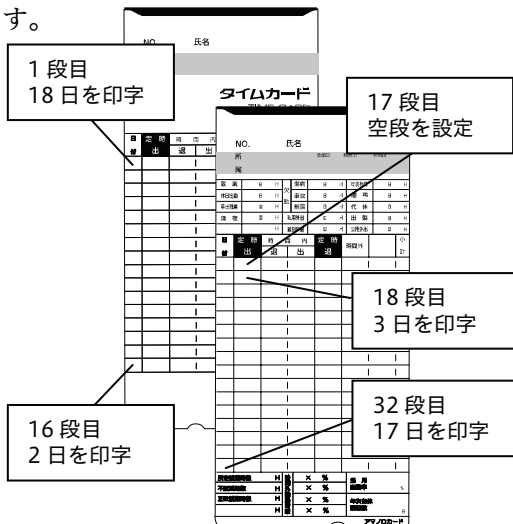
- 欄ボタンの④ボタンと⑥ボタンを同時に5秒以上押します。ピッと音がして①ボタン②ボタン③ボタンが順番に点灯します。
- 変更する締日に該当するボタンを5秒以上押します。ピッと音がして設定されたボタンが4回点滅します。点滅後は設定変更前の欄ボタンが点灯します。  
月末・15日締め（Aカード）：「出」ボタン  
25日・10日締め（Cカード）：「時間内 退」ボタン  
20日・5日締め（Bカード）：「時間内 出」ボタン

## アマノDカードを使用する場合

Dカードを使用する場合には「締日」の設定に加えて「空段」の設定が必要になります。タイムカード片面にそれぞれ16段、合計32段の印字段に対して、使用しない段を「空段」と呼びます。アマノ標準A、B、Cカードで対応できない締日として17日締めを例に説明いたします。

- ・締日（その他）…17日  
（14 ページ参照）
- ・空段…17 段目
- ・曜日印字…日付  
（20 ページ参照）

タイムカードのおもて面(青色の印刷面)の1段目に18日、16段目に2日を印字、うら面(赤色の印刷面)の最上段(17段目)を「空段」に設定し、18段目に3日、32段目に17日を印字します。



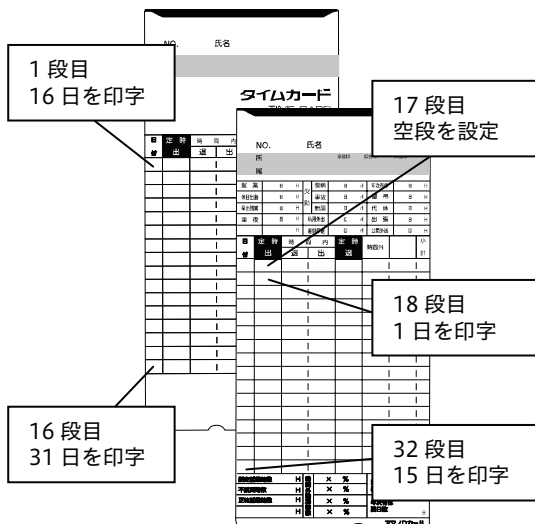
## 15日締めをDカードを使用しておもて面から使用する場合

15日締めの場合には通常Aカードを使用します。

Aカードはおもて面（青色の印刷面）を1日から、うら面（赤色の印刷面）を16日から使用します。

設定により15日締めにおいてもDカードを使用しておもて面（青色の印刷面）から使用することができます。

- ・締日（その他）…15日  
（14 ページ参照）
- ・空段…17 段目
- ・曜日印字…日付  
（20 ページ参照）



例：締日を15日、空段を17段目に設定する

## 1 上ぶたを開けます (13 ページ参照)

## 2 設定見出しを回転させます

その他ボタンを押して締日を15に設定します。

ディスプレイ表示

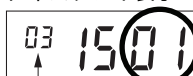


印字段 切り換時刻  
締日  
空段 位置

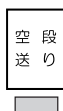
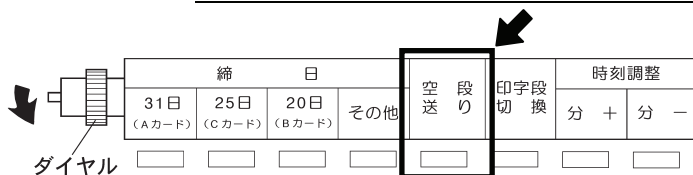


## 3 空段送りボタンを押します

ディスプレイ表示



印字段 切り換時刻  
締日  
空段 位置



ボタンを押すと、空段の位置が変わります。「17」になるまで押します。押し続けると早送りします。



15 ページ上の17日締め (空段=17段) に設定した場合は右の表示になるように設定します。



- 設定が完了しましたら13 ページを参照して上ぶたを閉めてください。時計が表示されない場合は上ぶたが確実に閉まっているか確認してください。

※Dカードはカード上への日付印刷がありません、日付印字の設定を推奨します。(20 ページ参照)



# 印字段切換時刻の変更が必要な場合

本機は印字するタイムカードの段が午前 3:00 に切り換えるように設定されています。

右図は、午前 3:00 を超えて退勤打刻した場合の例です。午前 3:00 を超えた午前 5:10 に打刻した為に翌日の段に印字されています。

日付	定 時		時 間		内		定 時	時間外	小計
	出	退	出	退	退	時間外			
1	*22:09								
2					* 5:10				

午前 3:00 を超える勤務が頻繁にある場合、印字段切換時刻を勤務されている方がいない別の時刻に変更します。

例：印字段切換時刻を午前 6:00 に設定する

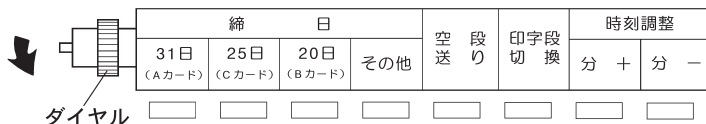
## 1 上ぶたを開けます (13 ページ参照)

## 2 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示



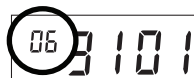
印字段  
切換時刻



## 3 印字段切換ボタンを押します



ボタンを押すと、切り換え時刻が変わります。希望する印字段切換時刻になるまで押してください。押し続けると、早送りします。



- 設定が完了しましたら 13 ページを参照して上ぶたを閉めてください。時計が表示されない場合は上ぶたが確実に閉まっているか確認してください。

印字段切換時刻を午前 6:00 にセツトすると、翌日の午前 5:59 までは同じ印字段になります。

日付	定 時		時 間		内		定 時	時間外	小計
	出	退	出	退	退	時間外			
1	*22:09						* 5:10		
2									

# 時計を合わせたい場合

時計が遅れたり進んだときに、時計を合わせます。

時計の合わせかたには2通りあります。

通常は、「分の合わせかた」で時計を合わせます。

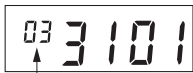
日付や時刻が違うときには「日付・時刻の合わせかた」で時計を合わせます。(19ページ参照)

《分の合わせかた（微調整）》

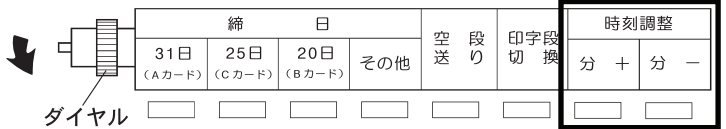
## 1 上ぶたを開けます (13 ページ参照)

## 2 設定見出しのダイヤルを回転させます

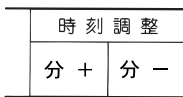
ディスプレイ表示



↑ 印字段  
↑ 締日  
↑ 空段  
切換時刻 位置



## 3 分+ボタンと分-ボタンで時計を合わせます



**分+** ボタン、**分-** ボタンを押すと、画面が時計表示に変わります。

※数分の遅れや進みであれば **分+**、**分-** ボタンを押して時刻調整します。  
数十分の遅れや進みであれば、「日付の合わせかた」の **時分** ボタンを押して、時刻調整します。(19ページ参照)

1 回押すと表示が1分ずつ進みます。押し続けると早送りします。押した瞬間、0秒から時計が動きます。

1 回押すと表示が1分ずつ戻ります。押し続けると早送りします。押した瞬間、0秒から時計が動きます。

- 設定が完了しましたら13ページを参照して上ぶたを閉めてください。時計が表示されない場合は上ぶたが確実に閉まっているか確認してください。

## 《日付・時刻の合わせかた》

年・月・日・時・分の修正をします。

13 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

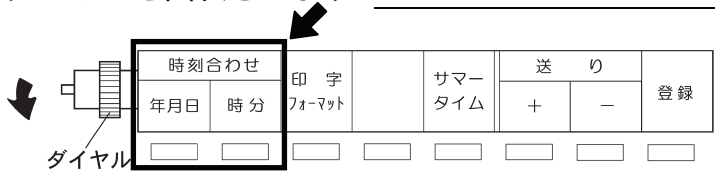
例：2018年3月29日 18:00 を 2018年4月1日 8:30 にする

### 1 設定見出しのダイヤルを回転させます

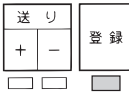
ディスプレイ表示



年が点滅します



### 2 西暦年を合わせます 年月日を修正しない場合は手順5へ進んでください。



西暦年を確認します。  
修正する必要がなければ  
登録ボタンを押します。



登録ボタンを  
押すと月が点  
滅します

### 3 月を合わせます



+ボタンを1度押します。  
04になりましたら登録ボタンを  
押します。



登録ボタンを  
押すと日が点  
滅します

### 4 日を合わせます



01になるまで+ボタンを押します。  
01になりましたら登録ボタンを  
押します。



登録ボタンを  
押すと確定し  
ます

### 5 時分ボタンを押します



01になるまで+ボタンを押します。  
01になりましたら登録ボタンを  
押します。



時が点滅しま  
す

### 6 時を合わせます



08になるまで-ボタンを押します。  
08になりましたら登録ボタンを  
押します。



登録ボタンを  
押すと分が点  
滅します

### 7 分を合わせます



30になるまで+ボタンを押します。  
30になりましたら登録ボタンを  
押します。



登録ボタンを  
押すと登録を  
完了し、0秒  
から時計が動  
きます。

- 設定が完了しましたら 13 ページを参照して上ぶたを閉めてください。  
時計が表示されない場合は上ぶたが確実に閉まっているか確認してください。
- 年は、2099年まで設定できます。

# 曜日の印字を変更したい場合

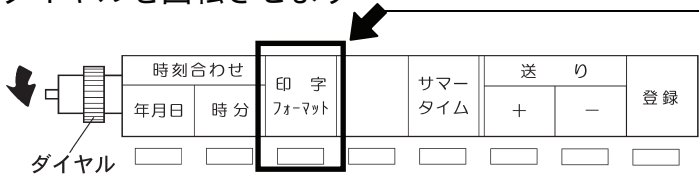
タイムカードに印字する曜日の種類を変更します。  
13 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

曜日印字 0：日付 1：漢字 2：英語 3：曜日印字しない

例：曜日印字を日付印字に変更する

## 1 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示



## 2 印字フォーマットボタンを押します



ボタンを押すと画面が変わります。

タイムカードの表裏判定

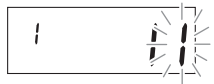


分印字表現  
曜日印字

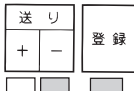
## 3 登録ボタンを2回押します



曜日の印字の数値が点滅します。



## 4 曜日の印字を変更します



0 になるまで - ボタンを押します。  
0 になりましたら登録ボタンを押します。



0：日付  
1：漢字  
2：英語  
3：曜日印字しない

印字例

日付	定時出	時間内退	定時退	時間外	小計
1					
2	8:55				
3					

日付の印字になりました

- 設定が完了しましたら 13 ページを参照して上ぶたを閉めてください。  
時計が表示されない場合は上ぶたが確実に閉まっているか確認してください。

# タイムカードの表裏判定と分印字表現

タイムカードの表裏判定の有無や時刻の表現方法を設定します。

13 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

※タイムカードの表裏判定する／しないは、アマノ標準 A、B、C カードをお使いのときは設定不要です。

D カードをご使用のときに、設定する場合があります。

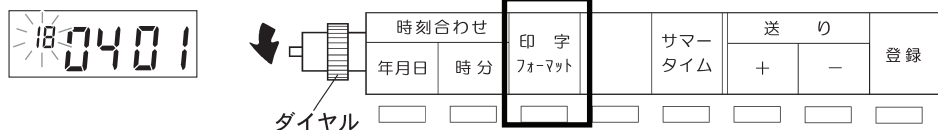
タイムカードの表裏判定 1：する 2：しない

分印字表現 1：60 進法 2：100 進法 A 3：100 進法 B 4：10 進法

例：タイムカードの表裏判定なし、分は 100 進法 B に設定する

## 1 設定見出しのダイヤルを回転させます

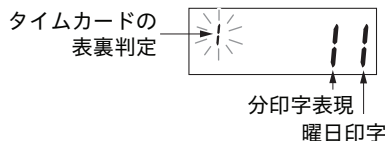
ディスプレイ表示



## 2 印字フォーマットボタンを押します



ボタンを押すと画面が変わります。



## 3 タイムカードの表裏判定を変更します



2 になるまで + ボタンを押します。  
2 になりましたら登録ボタンを押します。



## 4 分印字表現を変更します



3 になるまで + ボタンを押します。  
3 になりましたら登録ボタンを押します。



- 設定が完了しましたら 13 ページを参照して上ぶたを閉めてください。  
時計が表示されない場合は上ぶたが確実に閉まっているか確認してください。

### 分印字表現

60 進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
100 進法 A	0	2	3	5	7	8	10	12	13	15	17	18	20	22	23	25	27	28	30	32	33	35	37	38	40	42	43	45	47	48
100 進法 B	0	0	0	5	5	5	10	10	10	15	15	15	20	20	20	25	25	25	30	30	30	35	35	35	40	40	40	45	45	45
10 進法	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
60 進法	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
100 進法 A	50	52	53	55	57	58	60	62	63	65	67	68	70	72	73	75	77	78	80	82	83	85	87	88	90	92	93	95	97	98
100 進法 B	50	50	50	55	55	55	60	60	60	65	65	65	70	70	70	75	75	75	80	80	80	85	85	85	90	90	90	95	95	95
10 進法	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9

## サマータイムの設定をしたい場合

日本国内において、サマータイムが導入されたときに登録してください。

サマータイムの開始/終了日と、実行時刻を設定します。

登録したサマータイム開始日の実行時刻になると、自動的に時計が1時間進みます。

登録したサマータイム終了日の実行時刻になると、自動的に時計が1時間戻ります。

### サマータイム設定の自動更新

例えば、開始日=2019年4月7日（日曜日）、

終了日=2019年10月27日（日曜日）と設定した場合

本機は開始日を4月の最初の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と認識します。

そのため、サマータイム終了日を過ぎると、翌年のサマータイム設定は、自動的に

開始日=2020年4月5日（日曜日）、

終了日=2020年10月25日（日曜日）と設定し直されます。

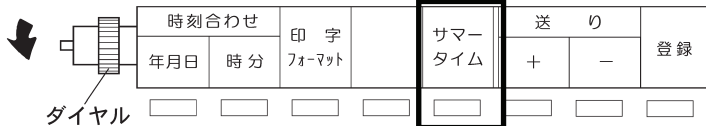
1度設定をすれば、その後は設定不要です。

13 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

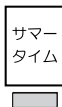
例：開始日を 2019 年 4 月 7 日、実行時刻を午前 5:00 に設定する

### 1 設定見出しのダイヤルを回転させます

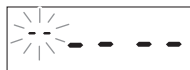
ディスプレイ表示



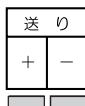
### 2 サマータイムボタンを押します



ボタンを押すと画面が変わります。



### 3 + または - ボタンを押します



ボタンを押すと、開始年月日とその曜日を  
表示します。(曜日は該当曜日表示下に▲  
が表示されます。)



## 4 西暦年を合わせます



西暦年を確認します。修正する必要がなければ **登録** ボタンを押します。



## 5 月を合わせます



4になるまで **+** ボタンを押し、**登録** ボタンを押します。



## 6 日を合わせます



7になるまで **+** ボタンを押し、**登録** ボタンを押します。



4月7日の曜日表示

## 7 もう1度、登録ボタンを押します



登録ボタンを押すと、実行時刻を表示します。



## 8 実行時刻を設定します



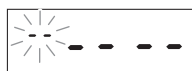
5になるまで **+** ボタンを押し、**登録** ボタンを押します。  
登録ボタンを押すと、点滅が点灯に変わります。  
注) 実行時刻の設定は「時」のみで、「分」は00分固定です。



## 9 もう1度、登録ボタンを押します



登録ボタンを押すと、終了年月日の設定に移ります。  
開始年月日と同じように設定します。



### ■ 設定の確認をしたい場合

設定終了後、サマータイムボタンを押すごとに、開始年月日→実行時刻→終了年月日と表示が変わり、設定の確認ができます。

### ■ 設定の取消しをしたい場合

開始日と終了日を同じ年月日で設定すると、サマータイムは機能しません。

# こんなときには

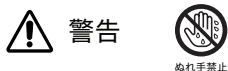
## 故障かなと思ったら

現象	原因と処理
カードが入らない	・ 停電中 ⇒ 復電するまで待つ
	・ 電源コードが抜けている ⇒ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・ カードを引き抜いたり無理に押し込んだりした ⇒ 電源プラグを抜き、差し込み直す
“ピコピコピコッ”と音がして印字しない	・ カード面を逆に挿入した ⇒ カードの表裏を反対にして挿入する
“ピーッ”と音がして印字しない	・ カード挿入の失敗 ⇒ 軽く押しぎみに挿入する
時計が進まない	・ 停電中 ⇒ 復電するまで待つ
	・ 電源コードが抜けている ⇒ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
時計が遅れている (進んでいる)	・ 時計合わせの間違い ⇒ 「分の合わせかた」 P.18 参照
	・ 長時間の停電 ⇒ 「日付・時刻の合わせかた」 P.19 参照
曜日が違う	・ 西暦年合わせの間違い ⇒ 「日付・時刻の合わせかた」 P.19 参照
日付が違う	・ 日付合わせの間違い ⇒ 「日付・時刻の合わせかた」 P.19 参照
印字がうすい (印字が欠ける)	・ リボンの寿命 ⇒ 「リボンカセットの交換」 P.25 参照
	・ リボンカセットの装着ミス ⇒ 正しくセットし直す
印字段が違う	・ 締日などの設定間違い ⇒ 締日、空段、印字段切換時刻、日付、カードタイプの設定を確認する
印字欄が違う	・ 印字欄の選択ミス ⇒ 正しい印字欄を選択する
印字が流れる	・ 利用方法の誤り ⇒ 印字中にカードを引き抜いたり、押し込んだりしない

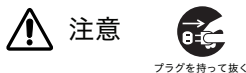
以上を点検しても正常に使用できない場合は、分解・注油などを行わず弊社最寄の支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。



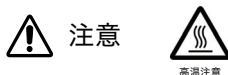
# 印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因となることがあります。

タイムカードの印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

## お願い

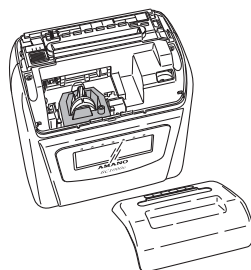
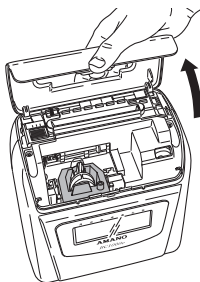
上ぶたを開けてリボンカセット交換等を行うときは、スチールデスクなどの大きな金属に触れるなど除電して(静電気を取除いて)から作業してください。故障等の原因となることがあります。

ご注意  
誤って欄ボタンに触れると、設定が変わる恐れがあります。欄ボタン(設定ボタン)に触れないようご注意ください。

## 1 上ぶたを開けます

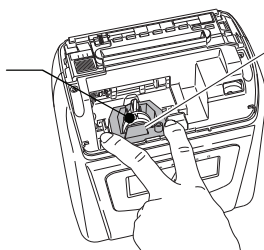
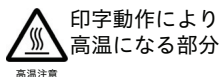


上ぶた中央を押しながら、上ぶたを開きます。

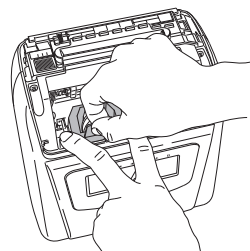


ドットプリンターが中央に寄りましたら、電源プラグをコンセントから抜きます。

## 2 リボンカセットを取り出します



取っ手



図のようにリボンカセット押え(26ページ図B参照)を手前に引いたまま、リボンカセットの取っ手をもって引き抜くように取り出します。



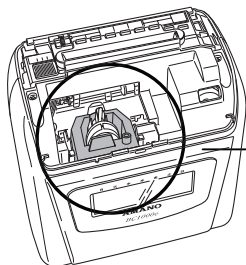
注意



高温注意

高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因となることがあります。

### 3 新しいリボンカセット（品名：CE-319250）をセットします



※ここがパチッと音がします

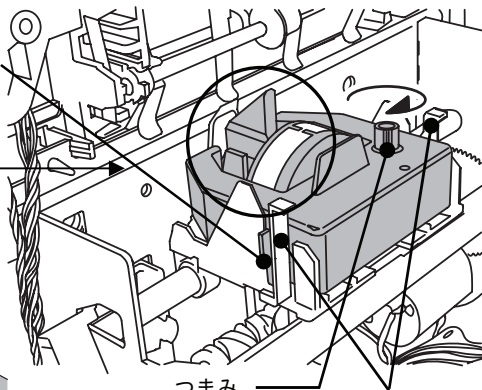


図 B

つまみ

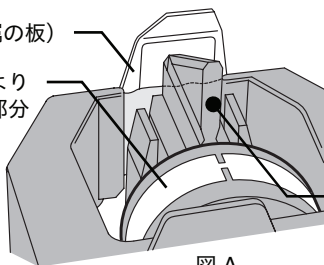
リボンカセット押え

リボンガイド(金属の板)



印字動作により  
高温になる部分

高温注意

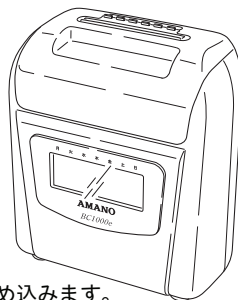
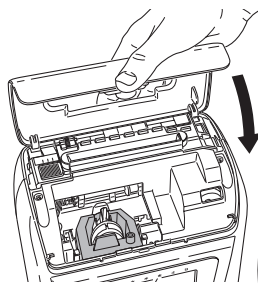
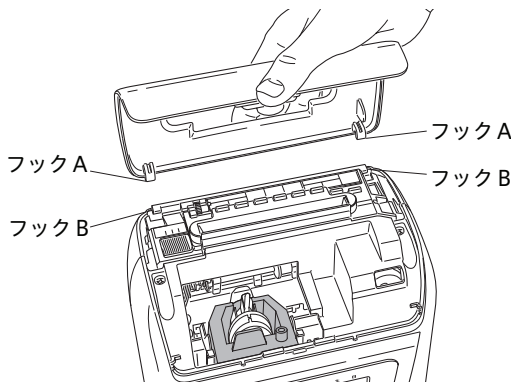


プリンターヘッド(黒いプラスチック)

図 A




リボンカセットを、リボンガイドとプリンターヘッドの間に正しく入れます。(図 A)  
パチッ<sup>※</sup>というまで押してセットし、つまみを時計方向に回してたるみをとります。(図 B)

### 4 上ぶたを閉めます



上ぶたのフック A を本体フック B に引っ掛けてから、上ぶたを手前に倒してはめ込みます。  
無理に閉めるとフックを破損する可能性があります。  
閉まりにくい場合は、フックが正しく引っ掛かっているか確認してください。  
最後に電源プラグをコンセントへ差し込みます。

# エラーコード一覧とメッセージ

⚠ 警告	⚠ 注意
 <p>ぬれ手禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となります。</li> </ul>	 <p>プラグを持って抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。</li> </ul>
 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードを傷つけたり、破損しない。 また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。</li> </ul>	

エラー音「ピコピコピコ」がした場合は電源コードを抜いて、10秒程してから再度コンセントへ差込んでください。

回復しない場合は表示されたエラーコードを確認してください。

エラー表示	エラー内容	処置
E-02	欄ホームポジションセンサエラー	弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。
E-03	印字タイミングパルスセンサエラー	
E-04	遮光センサエラー	カードを再挿入してください。

※E-02・E-03は打刻できません。

※E-04が連続して発生する場合も打刻できません。

※アマノ標準タイムカード以外をお使いのときは、正常な動作の保証をいたしません。

アマノ標準タイムカード（A、B、CまたはDカード）をお使いください。（7ページ参照）

## 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## 注意



プラグを持って抜く

- ・電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

## 日常のお手入れ

### ■ 普段のお手入れ

ケースの汚れは、乾いた柔らかい布(綿・ネルなど)で軽く拭き取ってください。  
※硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきますので  
ご注意ください。特に窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。  
(表面は特殊加工されていますので、ご注意ください)

### ■ 汚れがひどいときは

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿・ネルなど)  
を固くしぼったもので拭き取り、その後、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。  
※本体および電源コード類に有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使  
用しないでください。変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

### ■ 電源プラグも定期的にお手入れ

トラッキング火災防止のため、電源プラグも定期的にお手入れしてください。  
(トラッキング火災：差しっぱなしのコンセントにほこりと水分が溜まり、プラ  
グとの間にスパークが発生し、出火するという火災です)  
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
電源プラグについたほこりのお掃除は乾いた手で電源プラグを抜き、乾いた布で  
拭き取ります。また、コンセントの周辺のほこりも取り除いてください。

## 製品仕様

使用電源 : AC100V ± 10% (50/60Hz)

消費電力 : 待機時 2W 定格 8W

環境条件 : 温度 -10°C ~ 40°C

湿度 10%RH ~ 90%RH (結露のないこと)

外形寸法 : 高さ 224 mm × 幅 190 mm × 奥行 107 mm

質量(重量) : 2.3 kg

時計方式 : 水晶発振方式 週差 ± 3 秒以内 (25°C ± 5°C)

メモリー保持機能 : リチウム電池にて工場出荷時より停電累計時間で3年間  
(内部時計以外の機能はすべて停止します)。  
停電時の打刻はできません。

## 消耗品・別売品

■デザイン・仕様は予告なく変更することがございます。

アマノ標準タイムカード (1箱 100枚)

[標準] Aカード  
月末/15日締め用



JAN:4946267100014

[標準] Bカード  
20日/5日締め用



JAN:4946267100021

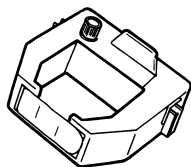
[標準] Cカード  
25日/10日締め用



JAN:4946267100038

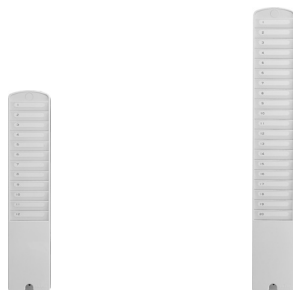
[標準] Dカード(日付印刷なし) JAN:4946267100045

リボンカセット



品名 : CE-319250  
JAN : 4946267120555  
単色 : 黒

カードラック (サイズの単位はmmです。)



品名 : 12S-W  
JAN : 4946267110280  
12枚差し (PS樹脂製)  
101W × 491H × 32D

品名 : 20S  
JAN : 4946267110297  
20枚差し (PS樹脂製)  
101W × 683H × 32D

JAN:JAN コードを表します。